

教区の親愛なる姉妹たち、親愛なる兄弟たち

カトリック仙台教区 司教  
ガクタン エドガル  
2023年12月1日

### 新型コロナウイルス感染症にともなう措置

#### † 主の平和

わたしたちは主のご降誕を迎える準備の待降節を迎え、祈りと愛徳の業に努めこの  
典礼季節を過ごしてまいりましょう。

新型コロナウイルス感染症は、感染症5類に変更され、政府等行政による指示も緩  
和の状況となってから教会活動も通常の形態に戻りつつあります。

新型コロナウイルス感染症に関するカトリック仙台医師会の見解を受けて、他の教  
区の対応指針を参考にし、皆さまに以下のような措置を発表いたします。

この措置の適用にあたっては各現場の状況を考慮し、検討の上決定してください。

1. 小教区での主日ミサ、通夜葬儀、ミサ以外の秘跡、勉強会、音楽会などについて
  - a. マスク着用：原則として任意。  
ある程度の換気ができ、定員以内の人数で座れる場合で、祈りを唱える  
など通常の会話程度の声量であればマスクの着用は任意。全員で聖歌を  
歌う場合は、当面はマスクの着用を勧めます。司祭は、奉納から聖体拝  
領までマスクをすることが望ましい。司会者、朗読者はマスクをする必  
要はありません。
  - b. 消毒：希望者が消毒することができるよう、入り口 付近に消毒剤を置く  
ことは継続。聖体を授与する司祭や奉仕者が授与の前に、あるいは信者  
が聖体拝領前に消毒をすることは望ましい。ミサ終了後の座席の消毒な  
どは原則不要。
  - c. 聖堂入り口に聖水を置くことができます。
2. 小教区以外の修道院や施設でのミサ、またミサ以外の集まりにおいては、上記1  
にのっとり、それぞれの責任者が判断してください。

様々な事情によって、マスクを着用できる人も着用できない人もおられます。感染  
予防に留意することを原因とする批判や差別がくれぐれもないよう、一人ひとりの事  
情を理解し、配慮してください。よろしくお祈りいたします。